

番号	1					
テーマ	ペイントと音	♪あめふりくまのこの歌にあわせてペイント				
実施回数・期間 (注2)	3回 (4回)					
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス 5人	1歳児クラス 6人	2歳児クラス 4人	3歳児クラス 人	4歳児クラス 人	5歳児クラス 人
活動内容 (注3)	保育室に電子ピアノ、床にブルーシートを敷き詰めて、ボディペイント用のえのぐ、ローラーや筆などを準備。まずはえのぐ→えのぐの色の紹介をして、手や指を使って模造紙に手型や塗りたぐりを行っていった。その様子からピアノで簡単な歌を歌っていった。赤のえのぐで♪さいたさいた~とちゅうりっぷを歌いお花に見立てて塗っていった。♪どんないろがすきの歌で色遊び、あめふりくまのこの歌で歌の世界を想像し、自由に雨の様子をポンポンポンと色をつけたり最後は葉っぱに色を直接つけてスタンプ。それから♪あたまにのせましたと歌うと実際に頭に葉っぱを乗せてみて髪の毛もペイントのピンク色になって笑い合いました。					
活動における チェックリスト	グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。 ※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか 子どもたちのすぐ隣で寄り添い活動を行った。一人ひとりが自由な発想で動けるようにまだ話ができる子達の身振り手振り、小さな声も見逃さないようにした。					
	活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像 等で記録した。 ※記録をどのように行ったか デジカメで写真を撮った。担当を決めることで子どもたちの言葉や表情、ジェスチャーなどにすぐに気付けるようにした。メモ、写真で記録した。					
	乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。 ※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 汚れることを嫌がる子も多く、「汚れても大丈夫だよ」「手あらうよ」と汚れても大丈夫なことを伝えて安心して活動ができるように常に優しい声掛けを心がけた。子供だけでなく先生も一緒にダイナミックに行うことで恐怖心などがなくなるように配慮した。					
	記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。 ※振り返りの実施方法 終了後、記録をもとに職員全員からメモや反省感想を研修報告書として記録して出し合い、ミーティングでも感想を言い合い共有した。子どもたちがどんなふうに時間の中で変化していくか、楽しめたか等職員一人ひとりが感じたもの、接したこの反応などを出し合い振り返った。それをもとに講師の方と次回の策を練った。					
	幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。 ※教諭や保護者等への共有方法 保護者へは送迎時に活動の様子を一人ひとりへ伝えた。またホームページに掲載、写真を通して共有した。また、見学や面接にきた方々へも園内に掲示した活動の模造紙を見せながら探究活動の内容を共有した。					
	次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問い合わせや環境の構成を考えた。 ※継続的な実施のための工夫 振り返りを行い、そこで出た課題を踏まえ、また子どもたちの目が輝き楽しめたものを中心に、さらに活動を深堀りして追求した内容を講師の先生、職員間で話し合い新たな環境構成を考えた。保育中でも日頃からは歌に触れて自由に描く(クレヨン・ペン・絵の具等)を取り入れ、活動に参加しやすいようにしていく。					